

会 報 《第481号》

次代を築くヒューマン・ネットワーク
一般社団法人兵庫県建築会



令和8年4月1日

目 次

- I 新年度にあたって . . . 2頁
(一社)兵庫県建築会 副会長 ((株)岡工務店代表取締役)
岡 澄彦 氏
- II 第538回月例会 . . . 3~6頁
「未来志向の“丹波の森づくり”」
兵庫県丹波県民局長 糟谷 浩行 氏
- III 特別会員(行政、関係団体)異動状況 . . . 7頁
- IV 令和7年度第4回理事会の開催 . . . 8頁
- V お知らせ 行事予定、編集後記 . . . 8頁



I 新年度にあたって

(一社) 兵庫県建築会 副会長 ((株) 岡工務店代表取締役) 岡 澄彦 氏

平成8年度事業の始まりにあたり、ご挨拶申し上げます。

令和8年3月5日。年度内のすべての事業が執行され、同日の建築会理事会によって、令和8年度事業計画案が発表されました。以下の通りです。

建築会は歴史ある業種団体として、発足当時の戦災復興や阪神・淡路大震災の復旧復興に取り組んできた実績を踏まえ、地域の発展と安定に寄与し、かつ今後の大災害にも備えた建設基盤の整備に努め、業界の発展と社会貢献に一致団結して取り組む。

「安全・安心・元気で魅力あるまちづくり」をテーマとして新しい建設文化を創造するため、事業推進委員会を中心に研究や研修等の事業を積極的に取り組む。

持続可能な開発目標であるSDGsの達成に向けて、脱炭素社会の実現と地域特性を生かした安全・安心なまちづくり引き続き取り組む。

当会の活性化と建築のヒューマンネットワークの広がり推進するため、会員の誘致と相互の交流を推進する。

防災・減災知識の啓発に努めるとともに、自助・共助・公助の役割を踏まえ、共助の一環として専門知識や技術を活かして被災者の生活再建や地域の復興に協力する。

建築に携わる建設分野への若年層の就労を推進するため、教育機関等を交えた懇談会の開催等により、若年入職者の確保に向けた取り組みを支援する。

令和9年に迎える当会創立80周年の実施に向けた企画等を展開する。

という、産官学連携のコンセプトのもと月別の具体的な事業計画も上半期まで日程が埋まりつつある状況です。総会の実施案が決まってくると次年度への現実味が増してくるのは毎年この時期のこととはいえ運営が安定している証であります。

また、次年度予算案も発表されました。物価高騰の背景ゆえ、会員の皆様に負担増をお願いしましたが、当該年度の決算をクリアできる予算執行の見通しであるのは皆様の会の主旨への深いご理解の賜物であると感謝いたしております。

80周年事業においてもこれからではありますが、記念式典、記念講演会が次年度5月と1月に開催予定と骨子が決まり、記念誌も発行する方向が決まりました。

節目周年行事らしく70周年での手法を踏襲し、現代に合ったように合理化を図った事業とするというものです。

とかくどこの会に行っても「会に属すメリット」「費用対効果」が声高に言われていますが、当会の謳い文句である「談笑はすれども議論はせず」という中に、陳情はしないが何気に窮状を行政に伝える会であることが、魅力として長持ちしている証ではないかと思えます。



Ⅱ 第538回月例会

「 未来志向の“丹波の森づくり” 」

兵庫県丹波県民局長 糟谷 浩行 氏

(会長挨拶)



皆さん、こんにちは。

年度末を控え、公私ともにお忙しい中、本年度最後となります月例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

さて、去る2月26日に開催いたしました「兵庫県立西宮総合医療センター」の視察会では、県営繕課の皆様をはじめ、関係各位に多大なるご協力を賜りました。最新の病院計画のコンセプトの説明を受けたあと、高度医療を支える充実した施設内部を見学し、設計・建築に携わる我々にとって、大変意義深い研修となりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

この一ヶ月を振り返りますと、社会情勢は非常に慌ただしく動いております。先月の月例会では国際秩序と安全保障について学びました。その直後に行われた衆議院選挙では、高市自民党の圧勝という結果になり、政治の新たな局面に対する期待が高まりました。一方で、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックが始まると関心が移り、兵庫県ゆかりの選手を含む日本代表が歴代最多となる24個のメダル獲得に、大きな感動と勇気を与えてくれました。特にフィギュアスケート選手の、表現者として追及がスポーツの奥深さにつながり魅了されました。

他方、国際社会に目を向けますと、1月末のイラン首脳部要人への空爆に端を発し、緊迫した情勢が続いております。戦争拡大による世界経済、そして日本への影響が強く懸念されます。

こうした不透明な時代だからこそ、当会といたしましては、月例会や各事業を通じ、建築の立場から「安心・安全で平和な社会づくり」に一層貢献していきたいと考えております。引き続き、会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

さて、本日の月例会は、兵庫県丹波県民局長の糟谷浩行様を講師にお迎えし、ご案内の通り、未来志向の「丹波の森づくり」についてご講演をいただきます。私も自然豊かな丹波地域が好きで、丹波の森公苑や丹波篠山市の街歩きを楽しんでおります。昨年秋に兵庫陶芸美術館を訪れ、丹波焼を手取るなど、その風土の豊かさを実感しています。本日は糟谷様からどのようなお話が伺えるのか、大変心待ちにしております。

それでは糟谷先生、どうぞよろしく願いいたします。



(会場風景)

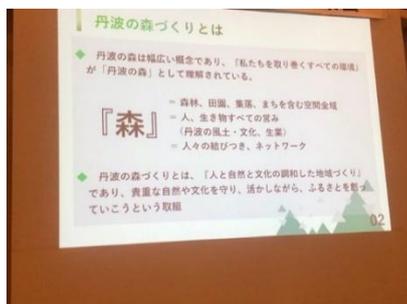
(講演概要)



丹波県民局長の糟谷でございます。今日は丹波地域の地域づくりのお話をさせていただく機会をいただきありがとうございます。

1 丹波の森づくりの概要

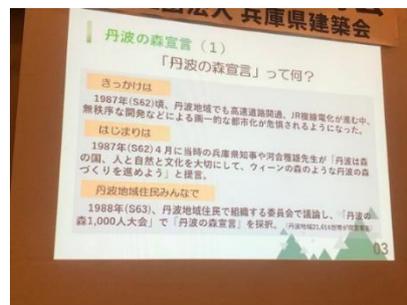
「丹波の森」とは幅広い概念で、人々を取り巻くすべての環境を指します。そこには森林だけでなく田園・集落・まちなどの空間全体が含まれます。また、人間だけでなく生き物すべての営みや、丹波の風土・文化・生業、人々の結びつきやネットワークも含まれます。このため丹波の森づくりとは、人と自然と文化の調和した地域づくりを目指す取組であり、貴重な自然や文化を守り、活かしながら、ふるさとを築いていこうという活動です。



2 丹波の森宣言

1987年頃、三田の北摂ニュータウン整備や高速道路の開通、JR篠山口駅までの複線電化などが予定され、画一的な都市化が懸念されていました。そのような状況の中で、当時の兵庫県知事や京都大学名誉教授の河合雅雄氏が「丹波は森の国であり、人と自然と文化を大切にしてウィーンの森のような丹波の森づくりを進めよう」と提言されました。これを契機に、1988年6月に地域住民による委員会

で議論が行われ、「丹波の森 1000 人大会」で

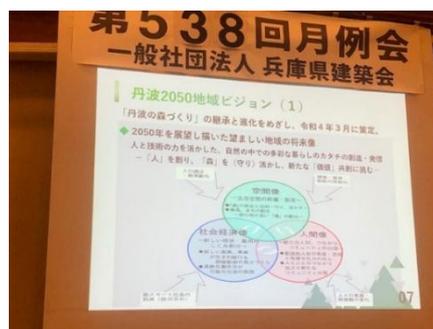


3 丹波地域の現状と課題

丹波地域では長期的な人口減少と高齢化が進み、特に若者や女性の人口減少が深刻な課題となっています。一方で、大都市近郊でありながら豊かな自然や景観、伝統文化が残り、黒大豆・大納言小豆・粟などの「丹波三宝」や恐竜化石などの地域資源を持つ強みもあります。人口は減少傾向にありますが、2022年度には社会移動がプラスとなり、丹波の魅力により転入する人も見られます。しかし、人口減少と高齢化の進行により、地域コミュニティ機能の低下等の課題も生じています。

4 丹波 2050 地域ビジョン

こうした課題を踏まえ、丹波の森づくりの理念を継承・発展させるため、2022年3月に丹波 2050 地域ビジョンが策定されました。このビジョンは2050年を展望し、持続可能な社会の実現に向けて時代の変化に対応した新たな取組を進めるものです。基本理念は「人と技術の力を活かした、自然の中での多彩な暮らしのカタチの創造・発信」で、「人を創り、森を(守り)活かし、新たな「価値」の共創に挑む」ことを掲げています。



5 将来像（空間・社会経済・人間）

- **空間像**：森の保全と活用を進めながら、集落やまちを新しい暮らし方・働き方に適した空間へ再編します。
- **社会経済像**：新産業の創出やツーリズムの発展、シェアリングエコノミーの活用などにより、新たな地域経済循環を生み出します。
- **人間像**：自然と共生する暮らしを基盤とし、多彩なライフスタイルが広がる地域を目指します。また、丹波に魅力を感じて居住・活動する創造的人材を増やすとともに、地域内外の人々のネットワークを広げます。

6 推進体制

ビジョンの実現に向けて18の展開方向を示し、特に重要な12事業についてプロジェクトチームを設置しています。地域住民（もりびと）、NPO、経済団体、専門家などが参加し、地域内外の人材が連携して取組を進めています。また、全体を調整する組織としてプラットフォーム TAMBA を設置し、ビジョンの更新や計画の策定、プロジェクト間の連携を担っています。さらに、若者が参画するたんばユースチームが提案や事業企画、情報発信などを行い、将来の地域づくりの担い手として活動しています。

7 シンボル・プロジェクトの概要

丹波 2050 地域ビジョンの推進に向け、シンボル・プロジェクトとして複数の取組が進められています。その中でも、アクティブ・フォレスト・プロジェクト、たんばフードバレー・プロジェクト、たんば恐竜（DMO）構想推進プロジェクト、シリ丹バレー構想プロジェクトが代表的な取組として実施されています。



8 アクティブ・フォレスト・プロジェクト

美しい里山の価値を再認識し、次世代へ継承することを目的とした取組です。人材育成、活動団体へのアドバイザー派遣、里山に関するワンストップ窓口の整備、ウェブサイトによる情報発信、里山資源の利活用の推進などを行っています。実践経験者や丹波の森協会、県・市職員など7名のチームで推進されています。主な活動として、安全講習会や実践研修の開催、活動団体へのアドバイザー派遣、情報発信の強化、里山資源や森林空間利用の実証などを実施しています。さらに、丹波の森エキスポを開催し、基調講演やトークセッション、林業重機の体験、木工ワークショップなどを通して森林や里山への理解を深める取組を行いました。

9 たんばフードバレー・プロジェクト

黒大豆、丹波大納言小豆、丹波栗、山の芋などのブランド農産物を中心に、付加価値の高い商品やサービスを生み出すフードバリューチェーンの構築を目指す取組です。ブランド農産物を活用した新商品開発を支援する事業を実施し、SNSによる情報発信や展示会出展、商談の進め方に関するセミナーなどを通じて販路拡大を支援しています。これまでに、丹波黒豆の煮汁で染めたタオルハンカチや丹波大納言小豆のぜんざい、低アルコールのスパークリング日本酒などが開発されています。さらに、丹波黒大豆のエスプーマかき氷、丹波栗の渋皮煮、黒豆おこわ、丹波栗とさつまいもの栗きんとん等新商品の開発やブランド農産物フェアの開催を行っています。



10 たんば恐竜（DMO）構想推進プロジェクト

篠山層群に分布する恐竜化石関連施設を活用し、地域を恐竜学習・アミューズメントゾーンとして発展させることを目的とした取組です。体験学習プログラムの開発や情報発信の強化、専門人材の登用などを進めています。主な活動として、恐竜化石と里山を組み合わせた体験ツアー、出張化石発掘体験会、モバイルスタンプラリーの実施、イベントへの参加などを通じてファンやリピーターの獲得を図っています。また、鉄道駅と恐竜スポットを結ぶグリーンスローモビリティの運行や電動自転車の貸出など二次交通の整備を進め、周遊観光を促進しています。さらに、新種として発表された角竜類ササヤマグノームスのフィギュアの製造・販売も計画されています。



11 シリ丹バレー構想プロジェクト

地域内外の産学官民のネットワークを形成し地域発のイノベーション創出を促進するエコシステムの構築を目的とした取組です。キャッチフレーズは「これまで出会ったことのない人同士をつなぐ」で、異なる分野の人々の交流から新たな知恵や事業を生み出すことを目指しています。関西経済連合会との連携協定の下で事業を進めており、女性起業家の海外交流、木材関連産業のネットワーク形成を目指す丹波ウッドバレープロジェクト、都市部企業との交流ツアーなどが実施されています。また、起業家人材の育成を目的としたユース起業アカデミーや、地域課題解決型のビジネスプランを募集・支援するたんばLPSチャレンジ事業なども展開されています。

最後に、地域課題の解決に向け、一人多役社会の実現、健康寿命の延伸、関係人口の拡大、デジタル技術の活用により活力ある豊かな地域社会を実現することを目指していきます。ご静聴ありがとうございました。

(お礼 西谷副会長)



糟谷局長には、丹波の新たなプロジェクトをご紹介いただきました。丹波2050地域ビジョンに基づき、色々なプロジェクトが動いていることを知ることができました。丹波というと、丹波栗、黒大豆、ぼたん鍋といった食に目がいきます。今回のプロジェクトでも新しい丹波の食の食材が開発されていくのを楽しみにしております。丹波というと、全国から見ても非常に羨ましい地域ですが、歴史や文化が色濃く残っており、それに加えて、人とか自然をうまくあわせることによって地域づくりが進められていくことをご説明されていたので、今後、ますますこれらのものがうまく融合して、丹波が発展していくことを願っております。本日はありがとうございました。

Ⅲ 令和8年度特別会員（行政関係等）の状況

（兵庫県一本庁分）
（敬称略）

職名	氏名
まちづくり部 部長	松浦 純
次長	城谷美也子
次長	澤田 純一
総務課長	村尾 和美
都市政策課長	小林 智成
都市計画課長	林 倫子
公園緑地課長	小倉 正大
住宅政策課長	山盛 貴重
公営住宅整備課長	柳井 徹
公営住宅管理課長	小山 達也
建築指導課長	前田 俊文
営繕課長	植田 吉則
設備課長	小池 敏之
環境部長	上西 琴子

神戸市建築住宅局 局長	増田 匡
副局長	光平 正弘
建築指導部部長 （空家空地指導担当）	松添 高次
建築安全課長	平岩 正行
部長（設備担当）	瀬戸 良典

*詳細は後日お送りする会員名簿をご覧ください。

その他一兵庫県地方機関、関係団体、神戸市
（敬称略）

職名	氏名
阪神北県民局宝塚土木事務所 まちづくり参事	雨森 尚子
東播磨県民局加古川土木事務所 まちづくり参事	辻本 浩司
北播磨県民局加東土木事務所 まちづくり参事	岡本 憲幸
中播磨県民局姫路土木事務所 まちづくり参事	松谷 真利
但馬県民局 豊岡土木事務所 まちづくり参事	木戸 政視
丹波県民局 丹波土木事務所 まちづくり参事	芦田 渉
淡路県民局 洲本土木事務所 まちづくり参事	杉本 明
(公財)兵庫県まちづくり技術 センター理事長	上田 浩嗣
(公財)兵庫県園芸・公園協会 理事長	多田 欣也
(公財)兵庫県芸術文化協会 理事長	谷口 賢行

IV 理事会の開催

令和7年度第4回理事会が開催され、令和8年度事業計画、令和8年度収支予算、令和7年度事業執行状況等の議題について協議されました。

日時：令和8年3月5日（木）
14：00～15：00
場所：神戸三宮東急REIホテル
内容：・令和8年度事業計画案について
・令和8年度収支予算について
・令和7年度事業執行状況について
・その他



V お知らせ

◎行事予定

1 監事監査

日時：令和8年4月7日（火）
13：00～14：00
場所：兵庫県建築会事務局
内容：・令和7年度事業執行状況について
・令和7年度決算見込みについて
・その他

2 定時総会及び会員交流会（予定）

日時：令和8年5月14日（木）
総会 17：00～18：00
交流会 18：00～19：30
場所：神戸三宮東急REIホテル
内容：・令和8年度事業計画案について
・令和8年度収支予算について
・令和7年度事業執行状況について
・その他

3 月例会（予定）

日時：令和8年6月5日（金）
12：00～14：00
場所：神戸三宮東急REIホテル
内容：「原子力発電と廃止措置」
（株）神戸製鋼エンジニアリング事業部門
原子力・復興プロジェクト部
フェロー 中山 準平 氏

4 月例会（予定）

日時：令和8年7月8日（水）
12：00～14：00
場所：神戸三宮東急REIホテル
内容：「県の森林林業政策のこれから」
（公社）ひょうご農林機構
副理事長 渡邊 直樹 氏

◎編集後記

新年度が始まり、定時総会が終われば、今年の事業が本格的に始まります。会員の皆様に興味を持たれるような事業を計画しておりますので、ご参加いただきますようによろしく願いいたします。

事務局：足達和則 石井滝美子
電話：078(996)2851
FAX：078(996)2852
e-mail archit-k@axel.ocn.ne.jp